2016~2017 年度
大船渡西ロータリークラブ会報

七福人

人類に奉仕するロータリー

RI 会長テーマ

会　長　藤原　太伸
副会長　前野　良夫
幹　事　浜田　浩誠

会長指針
チーム大船渡西で
ロータリーを楽しもう

・・・　例　会　記　録　・・・

２月第４週例会　２０１７年　２月２３日（木）

ソ　ン　グ　：　奉仕の理想　　ボックス　：２６，７００円（報告者　阿部　英氣会員）

本日出席率　：　５５．９３％　前回修正後１００％（ﾒｰｷｬｯﾌﾟ２９名）　（報告者　佐々木敏彦会員）

★　会長の時間　藤原太伸会長

先日の１５日から１８日までの（４日間）ロータリーの友編集委員の池辺様、カメラマンの佐藤様が大船渡西ロータリークラブのロータリーの友掲載の為の取材と言う事での訪問されていました。会員の皆様には多くの話題を提供して頂き、そして親睦・大船渡の PR もして頂き有難うございました。来訪当初はどのような内容で記事を編集しようか悩んでいますとの事でしたが、１５日の夜の懇親会をかわきりに、「東日本大震災に伴う支援活動状況の視察・会員企業への訪問・会員皆様方のインタビュー等を取材して、思っていた以上に内容の濃さに、逆にロータリーの友掲載４ページに集約できるか、いや別冊で掲載するしか無いぐらいの記事内容で困ったとの事でした。大船渡に来てみんなに会えて、どうして大船渡西 RC を取材してみてはと言われたのが、分ったような気持ちです。大船渡の皆さんはみんな元気で、活発な人ばかりで、本当にいい街にこられたことに感謝しています。ロータリーの友４月号に掲載される予定ですので、楽しみにしてください。」との事でした。　ご多忙の所取材にご協力して頂きました皆様、そしてご同行して頂きました皆様、お疲れ様でした。有難うございました。ロータリーの友４月号楽しみです。

話は変わりますが、私は仕事の役割を野球のポジションで考えてみました。
たとえば、ピッチャーは皆を引っ張るチームリーダーで、三塁手はガッツがあるプレーでチームをもり立てるメンバーです。またライトは時々ミスをしますが、一発逆転のホームランを打ってくれる頼のもしいメンバーです。このポジションは人によってピッチャーやキャッチャー・遊撃手など目指すところが違ってきます。

しかしチーム内がピッチャーだけだったり野手だけだったりでは野球はできません。最終的には全てのポジションが埋まって初めて試合が出きます。これは仕事でも、そしてロータリー活動でも同じです。各年度によって、目指すポジションと求められているポジションが違うかもしれません。また自分と同じポジションに複数の人がいるかもしれません。現在の仕事を野球に限らずにサッカーやバレーボールなどスポーツにたとえると、試合ができる状態なのか、そして試合に勝ことができるのかが明確になります。
結果、自分に求められているポジションや目指すべきポジションを探し出すことができるかもしれません。

私は現在、会長という持ち場なのでもっぱらピッチャーのポジションだと思います。頼もしいキャッチャー(幹事)そして内・外野手（理事会メンバー）それに応援団(会員の皆様)に支えられながら８カ月が過ぎようとしています。あと残り４ヶ月ではありますが会員の皆様のご協力のもとピッチャーのポジションを務めさせて頂きますのでご協力宜しくお願い致します。
２・３月になりますと次年度のポジション争いが動き出します。毎年・毎回この守備位置・ポジションを決めるに当たり、会員皆様のご協力が必要となります。会員皆様もご多忙とは存じますが積極的な参加をお願い致します。仕事も人生もいろいろ経験してみて本当の楽しみがわかると思います。　以上。

◆◆◆　　幹事報告　　◆◆◆

１　RI 日本事務局より　　３月のロータリーレート　１ﾄﾞﾙ１１６円との連絡がありました。

◆◆◆　　委員会報告　　◆◆◆

★木下彰則環境保全小委員長

来週の例会は、「愛の鐘」の清掃となっております。草刈り等は無く、周辺のゴミ拾いとなると思いますので、通常の集合時間でよいと思います。

また、駐車場は、東北汽船様からお借りしておりますが、当日は係員の指示に従って下さい。

◆◆◆　　本日のプログラム　　◆◆◆

ミーティング報告　　テーマ　：　会員増強と出席率について

★　第１班

開催日:　２０日　開催場所　：ときしらず

班長　：　橋爪文人　発表者：高木久子

参加者：　橋爪文人　紀室綾子　今野義也　佐々木敏彦　佐々木省吉　志田宏美
高木久子　千田喜一郎　濱守豊秋　船砥俊昭　松岡克之　藤丸数子
休石正基

Ａ会員増強について

①　会員になってほしい方をリストアップ

②　リストアップした方の知り合い会員３～４人（うち女性会員１名入れる）のグループで入会を勧める。

③　無職（退職された方)、主婦の方にも声がけ。但し、奉仕の気持ちを持って地域貢献をしたいと考えている方。

④　我々第１班のメンバーで一人は入会してもらおう！という強い発言があり４～５名の入会候補者名が上がり、この方たちを知っている会員とタッグを組んで入会にこぎつけたいと、前向きな意見で盛り上がりました。

B 出席率向上について

①　しばらく休んでいる方は、きっかけがないとなかなか腰が重くなってしまっているので、優しく〇日の例会は〇〇内容なのでぜひ出席して一緒に楽しもう～！と出席を促す。

②　その方の職業に関する事、得意分野の卓話をお願いして出番を作って差し上げる。
（みんなが待ってるよ～というメッセージを伝える）

以上　和やかなとても楽しいミーティングでした。

★　第２班

開催日:　２１日　開催場所　居酒屋舞
班長　:　上野哲　発表者：木下彰則
参加者：　上野哲　伊勢重徳　齊藤俊明　金比呂正　前原汪子　菊地弘郎　新沼福三
水野賢一　古内一二　佐藤良　鈴木秀樹　浜田浩誠　木下彰則　藤原太伸

出席メンバーは、班委員　１３名に藤原会長も出席頂き、合計１４名の出席で行われました。まず最初に上野班長より、用意してきた資料を渡され、会員増強の状況や出席率についての説明をされました。続いて、浜田幹事が用意してきた資料を渡され、一通り目を通してから一人一人の意見を順番に話していく方法で行われました。

まずは、出席率を上げるには。　夜例会を増やした方が良いのではないか、昼間どうしても仕事が有り抜けれないという人とが参加出来るのではないか。ただし、夜例会だと場所とか会費とか予算とかが関わってくるので、多くは出来ないと思うが２～３回ぐらいは増やせるのではないかそうすることにより、会員のコミニケーションが良くなり、昼間の例会の出席率も上がってくるのではないかと言う意見もあれば、自分の経験と反省も含め、どうして欠席してしまったかと言う経験談で水曜日、木曜日に会議やどうしても外せない仕事が入る事が多く、欠席になってしまうこのような時は、メーキャップを意識して出席率を上げる様にしている。入会間もない会員は、そのメーキャップの仕組みも有るか無いかも解らないので、教える必要が有るし、出席率の低い人に、メーキャップが付く会合があるときは、教えた方が良いと思います。誰が教えるのか進めるのかという問題がありますが、例えば出席の委員会で出席率の低い人に今度このようなイベント、会合があるので今日の欠席の代わりに出席してみないかとか、連絡を取ってみたり、連絡を他会員にお願いしたり、出席している一人一人にも意識してもらい、仕事、又はプライベートで会った時にでも声かけをしてもらうとか「連絡を忘れた人」とオブラートに包んで発表しているが、無断欠席という事なので社会人としてどうか、会社なら無断欠勤はありえるか。また、自分にあまい人は１００％は無理。自分に厳しく、忙しいからとかは自分にあまい証拠。という厳しい意見も出ました。

例会に出席するというあたりまえの事がなぜ出来ないか。例えば、車のシートベルトなぜ、今はあたりまえのように皆がしているか最初はみんなやらないのがあたりまえ、面倒くさいし窮屈だ。なぜやるようになったか、警察に捕まり、罰金を支払わなければ成らないし、車にもよるが、シートベルトをするまで、チャイムが鳴りうるさいので、みんなやるようになった。当初は、面倒だし、窮屈だが今はどうか、習慣に成り車に乗ったら、無意識にシートベルトを着用していませんか、ロータリーの例会も毎週木曜日に決まっているので、自分の習慣に成るように努力する必要がある。努力しないで、何も得るものなどない。というお話が出たり、自分が１００％出席するためにはどうしたら良いか、予定と計画を一年を通して立てて行動することが大切。
ギリギリの出席率では、後半欠席が多くなると取り戻せなくなるので、出来るだけ前半に貯金をしておくことが大切だ、そうすれば余裕があり、１００％出席が可能になる。という１００％出席するためのアドバイスというか、自分はこうして意識しているというお話があったりしましたし、夜なら出席出来る人が多いならば、例会をすれば堅くなってしまうのでこのようなミーティングを増やば、会員と会う楽しさが出てくるのではないか、予算もお金も掛かりますが、やってみる必要があるのではないか。メーキャップも付くから出席する人が多いのではないかと思います。と言った出席率に対しての意見、お話、自分の心得、自分の反省点、などがたくさん出ました。

会員増強については、あまり出ませんでしたが、より良いミーティングになったのではないかと思います。

そして、ロータリーの会員でいる以上、自分に厳しく、努力し、１００％出席を達成する事が自分の成長にもつながって来るのではないかと思いましたし、この思いを人に伝える事が出来れば会員増強にもつながって来るのではないかと思います。

最後に、この他にも沢山の貴重な発言、ご意見が有りましたが、まとめる事が下手なものでこの様な発表になってしまい、みなさんにお伝え出来ないのが残念です。
そもそも発表者のくじには外れ、ほっとしたのもつかの間、流れ的に私になり、反対する人も意見を言う人も

いなく、自動的になっていました。あのくじは、何だったのかと思いながら取り留めのない、つたない第二班の発表を終わらせて頂きます。　　ありがとうございました。

★　第３班

開催日:　２０日　開催場所　なごみ
班長　：　田邊茂昭　発表者：菅野嘉洋
参加者：　田邊茂昭　菅野嘉洋　池田義弘　大西竜介　佐々木幹子　志田成樹
野村朋員　藤原太伸　三浦和士　門田　崇　山口ひとみ　山口康文

発表予定者の野村さんが出張という事でまとめていただいた内容を発表します。
会員増強については順調に伸びているので、出席率について話し合いました。

◆　冒頭会長より
会員数は増えたが出席率が 50～60%と悪いため 70%くらいに上げたい。一度は１００%を達成したい。

◆　会員の思いも踏まえ、出席率向上のための意見交換
出席者からの主な意見は次の通り
・かつては推薦者がフォローしていた
・なぜ出席できないか理由を聞き、分析できないか
・夜例会は来る（来たいから）けど、昼例会は来ない
・仕事との優先順位は人それぞれ
・出ないといけないという雰囲気は大切
・メイキャップでもいい
・食事をよくするなど出来ないか
・連続で休むと行きづらくなる
・一緒に入った人と声がけをしている
・飲み会や野球など。例会以外での付き合いも連帯感が出来る
・来る人、来ない人が決まっているので来ない人に声がけする
・ロータリーに行きたいと思うには？動機としてロータリー学校だと思う事で、出席動機としている
・会員が増えたら出席率が下がるのは仕方がないとすればいいのでは？

◆まとめ
・出席率を上げるための即効性のある策
　✔　例会に出席できない場合は、メーキャップをうまく活用する
　✔　出席率の悪い人への声がけを実施する→推薦者を中心にフォローしあう
・継続した議論が必要なテーマ
　✔　例会に行きたいと思うには？
　✔　例会に来てもらうためには？
・個人での気持ちの持ち方
　✔　行きたいと思う動機を作る
　✔　例会以外でのお付き合いも大切にする

＊大切なのは“支えあうこと”